

令和 8 年度
教育委員会点検・評価報告書
(令和 7 年度対象)



令和 8 年 7 月
市貝町教育委員会

はじめに

市貝町教育委員会では、明日の市貝町を担う人づくりのため、令和3年3月に策定された第6次市貝町振興計画後期基本計画 第2編 基本目標ごとの個別施策の基本目標4において「誰でもどこでも育み学びあえる魅力に満ちたまち」という教育推進の総合的指針を定めています。また、町の教育・学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や方針を定めた、「市貝町教育大綱」も町振興計画後期計画を受け、改訂しています。これらの中の教育計画・施策では、（１）学校教育・就学前保育・教育の充実、（２）生涯学習の推進、（３）尊重しあう社会の形成を柱とし、その推進にあたっては町民の皆様の御理解・御協力を得て取り組んでいるところです。

こうした取り組みを進めるにあたっては、事業の進捗状況を町民の皆様に示しつつ各施策・事業が着実に実施されているか、また、効果的に実施されているかを点検・評価し、改善していくことが肝要です。

一方、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、各教育委員会は毎年教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに、公表することとされています。本報告書はこの趣旨に基づき、令和7年度に実施した施策・事業についての点検・評価結果を総括的にまとめたものです。また、点検・評価にあたり、学識経験者から御意見をいただき、反映させていただきました。

本町教育委員会では、本報告書の点検・評価結果を十分に踏まえ、町民の皆様に対する説明責任を果たしつつ施策・事業の改善を図り、今後とも一層の教育の推進に取り組んで参ります。

令和8年7月

市貝町教育委員会

1 趣旨

本町教育委員会では、本町教育の基本目標を「第6次市貝町振興計画」（平成28年3月）第Ⅱ部 基本構想の第2章 第4節に位置づけ、それを実現するための施策の大綱として、「市貝町教育大綱（市貝町教育振興基本計画）」を策定し、取り組んでいるところです。

一方、平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成20年4月1日施行）され、毎年教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について報告書を作成し、議会に提出するとともに公表をすることになりました。

2 ねらい

町の教育施策を進めるにあたり、事業の進捗状況を町民の皆様に示しつつ、各施策・事業が着実に実施されているか、かつ、効果的に行われているかを点検・評価していくことが必要だと考えております。また、その結果を公表することによって町民の皆様に説明責任を果たし、さらに施策・事業を充実させることがねらいです。

3 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、本町の「第6次市貝町振興計画」（平成28年3月）第Ⅱ部 基本構想の第2章 第4節の「誰でもどこでも育み学びあえる魅力に満ちたまち」に沿った施策・事業とします。

4 点検・評価の方法

「誰でもどこでも育み学びあえる魅力に満ちたまち」に位置づけた施策・事業ごとに、必要性、効率性、公平性の観点から点検・評価を行い、教育大綱策定時の基準年度である令和元年度から進捗状況を明確にし、今後の課題等を示します。また、点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方の知見の活用を図り、それらの意見・助言を反映させることとします。

点検・評価にあたっての学識経験者

氏 名	役 職 等
小 森 信 之	元公立中学校長
松 岡 あ ゆ み	家庭教育オピニオンリーダー
揚 石 哲 司	元栃木県PTA連合会会長
青 木 友 之	元行政職員

5 評価のしくみ

学校及び教育委員会により自己評価を実施し、検討会議により学識経験者の意見を反映し、総括的な評価を行います。

6 結果の取扱い

点検・評価においては、施策・事業ごとの目標指数に対する実績値及び達成率で評価します。特に達成率の低い施策・事業については、課題の解決を図り、改善・事業見直しを図ります。

市貝町教育大綱（市貝町後期教育振興基本計画）

基本目標 4 誰でもどこでも育み学びあえる魅力に満ちたまち

基本施策		目標指標	単位	現状値 R 1	中間目標値 R 4	目標値 R 7
1	子ども・子育て支援の充実	保護者のニーズに対応した保育内容充実が図られていると回答した保護者の割合	%	67.0	68.0	70.0
		地域子育て支援センター利用者数	人	2,166	2,400	3,000
		ファミリーサポートセンター支援事業登録者数	人	40	60	100
2	確かな学力と自立する力の育成	「英語が好き」と答えた児童生徒の割合	%	60.9	68.0	85.0
		学力の達成度（小・中）		県平均とほぼ同じ	県平均超教科数 1	県平均を上回る
		学習用端末を活用した授業		—	1 週間内 3 日以上	毎日
		地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると答えた児童生徒の割合	%	小学校 74.0 中学校 57.6	小学校 74.5 中学校 58.0	小学校 75.0 中学校 60.0
3	豊かな心と健やかな体の育成	スクールカウンセラーによる教育相談	日	30	60	90
		全国体力・運動能力、運動習慣等（小・中）調査（小5・中2：Tスコア）	(80点満点)	50.8	51.0	51.5
		学校給食の地場産物使用割合	%	48.2	50.0	52.0
4	教育環境の充実及び児童生徒への継続的な支援	学習指導助手、特別支援教育補助員の配置数	人	8	11	13
		トイレの洋式化	%	44.3	50.0	96.4
		家庭と学校とでオンライン授業が実施可能な割合	%	0	100	100
		学校のバリアフリー化（スロープ等による段差解消）	校	1	1	4
		子ども110番の家設置数	軒	218	220	230
		青色パトロールカー配備数	台	0	2	3

基本施策		目標指標	単位	現状値 R 1	中間目標値 R 4	目標値 R 7
5	学校・家庭・地域の連携と教育力の向上	学校支援ボランティアの登録者数	人	66	70	75
		部活動指導員の配置数	人	0	2	3
		コミュニティ・スクールの設置数	校	0	1	4
6	生涯における学びの支援	城見ヶ丘大学教室講座参加（登録）者数	人	1,714	1,720	1,750
		図書館の利用者数	人	47,689	49,000	52,000
		歴史民俗資料館の入館者数	人	8,272	8,500	9,000
		図書・CD等貸出数	点	70,440	73,000	77,000
		図書館郷土資料蔵書数	冊	7,038	7,150	7,270
7	文化・芸術の振興	指定文化財数	件	41	43	46
		入野家住宅来館者数	人	1,205	1,250	1,300
		音楽芸能大会参加（団体）数	団体	34	34	34
		ギャラリー展出品数	点	400	425	450
8	スポーツ及びレクリエーション活動の推進	生涯スポーツ参加者数	人	2,035	2,400	3,000
		ニュースポーツ教室	件	17	20	22
		総合型スポーツクラブ会員数	人	297	320	350
		農業者トレーニングセンターの利用団体数	団体	0※	13	15
		各種スポーツ団体、サークル数	団体	50	52	55
		学校施設の利用団体数	団体	32	25	30
9	人権教育・青少年教育・男女共同参画の推進	町設置各種委員会の女性委員の割合	%	26.40	28.00	30.00
		特設人権相談所の開設回数	回	4	5	6
		ジュニアリーダースクラブ会員の各種行事への参加率	%	41.3	45.0	50.0

目標指数の点検・評価

施策1 子ども・子育て支援の充実

重点目標	すべての家庭が安心して子育てできるよう、地域全体で子育て家庭を支えとともに、子育て環境を整備し、一人ひとりの個性を生かした幼児教育・保育を推進します。
------	---

重要施策

1 子育て家庭への経済的な支援	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを持つ親の経済的な負担を軽減するため、各種手当の利用促進、助成の充実
2 保育サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> 延長保育や休日保育、病児保育、子育て支援短期事業（ショートステイ、トワイライトステイ）など、保護者のニーズに対応した保育内容の充実 ファミリーサポート事業の充実と利活用の推進 自然の中で遊べる機会を提供し、豊かな情操を育てる 地産地消を通じた食育の実践 高齢者や障がい者などとの交流を行い、共生社会の理解を深める
3 地域の子育て環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターの充実を図り、子育て世代の交流の場を提供 老朽化した保育施設を地域の多世代交流の場として再編する 豊かな自然や文化財を知る機会を増やす
4 幼児教育・保育の充実促進	<ul style="list-style-type: none"> 幼児一人ひとりに応じた教育・保育を推進 幼保小の連携を図る 公立の認定こども園の設置
5 保育士の待遇改善	<ul style="list-style-type: none"> 保育する側と保育される者が安定的な関係を継続できるよう待遇を改善する 研修等を充実し、保育士等の資質向上を図る

1-1 目標指数

成果指標		保護者のニーズに対応した保育内容充実が図られていると回答した保護者の割合		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
%	67.0		68.0	70.0
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	95.8	140.9	136.9	令和7年度の実績については、高評価の結果を得られた。医療的ケア児の受入れに伴い看護師を配置したことでの保健衛生面での体制強化、主食（白米）提供を開始し給食の充実を図った。 令和8年度よりICTシステムを導入し保護者及び保育士の利便性向上を図る予定である。
R4	96.3	141.6	137.6	
R5	96.5		137.9	
R6	96.8		138.3	
R7	96.9		138.4	

目標指数の点検・評価

施策1 子ども・子育て支援の充実

1-2 目標指数

成果指標		地域子育て支援センター利用者数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
人	2,166		2,400	3,000
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	469	19.5	15.6	<p>出生数の減少や、早期から保育施設に所属する世帯が多く、子育て支援センターの利用者は前年より減少している。</p> <p>母子保健部門と共同で保健福祉センターでお昼寝アートや手形スタンプ作成などの行事を実施している。イベントの時以外の利用者がほぼいない状況となっており課題となっている。</p>
R4	182	7.6	6.1	
R5	332		11.1	
R6	295		9.8	
R7	199		6.6	

1-3 目標指数

成果指標		ファミリーサポートセンター支援事業登録者数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
人	40		60	100
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	58	96.7	58.0	<p>利用登録者数は目標値を超える状況となっている。</p> <p>養成講座を毎年実施するなどして会員増加に繋がっている。</p> <p>令和7年度から10時間のお試し利用の補助を行い、利用に向けた後押しとなっている。</p>
R4	66	110.0	66.0	
R5	90		90.0	
R6	110		110.0	
R7	124		124.0	

目標指数の点検・評価

施策2 確かな学力と自立する力の育成

重点目標	確かな学力を身に付け、多様化する社会に対応できる児童・生徒を育成します。
------	--------------------------------------

重要施策

1 確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼・保・小・中学校間の連携・接続の推進 ・ 外国語指導助手（ALT・JTE）の配置と国際交流事業、イングリッシュデー等による国際理解、交流事業の推進 ・ 学校ICTの活用による新たな学びの推進 ・ 特別支援教育の充実
2 自立する力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育の充実 ・ サシバの繁殖と渡りの観察を通じた環境教育の推進 ・ 地域の歴史・文化資源や人材を活用したふさと教育の充実 ・ 地域活動やボランティア活動などの体験を通じた学びの推進 ・ 学校畑やアグリ体験をととした食育の推進

2-1 目標指数

成果指標		「英語が好き」と答えた児童生徒の割合		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
%	60.9		68.0	85.0
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	57.5	84.6	67.6	令和7年度は、とちぎっ子学力学習状況調査と全国学力・学習状況調査の小6対象の調査項目において、本内容が無くなったため、令和7年度の実績値については、中学校2年生のみの結果となっている。そのため、町の傾向とはいえないところもある。ただ、英語が将来のために役立つと肯定的に回答した生徒は、県よりも割合が多かった。今年度は、宇都宮大学教職大学院で研修を受けられた先生が学校現場に戻られているので、外国語・英語の授業改善を図り、児童生徒の学習意欲の向上を図っていく。
R4	60.6	89.1	71.3	
R5	54.4		64.0	
R6	74.5		87.6	
R7	53.1		62.5	

目標指数の点検・評価

施策2 確かな学力と自立する力の育成

2-2 目標指数

成果指標		学力の達成度(小・中)		
単位	現状値 (R 1)		中間目標値 (R 4)	目標値 (R 7)
	県平均と ほぼ同じ		県平均超 教科数 1	県平均を 上回る
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	ほぼ同じ	0.0	0.0	<p>とちぎっ子学習状況調査(小4・小5・中2)、全国学力・学習状況調査(小6・中3)の国語と算数において、県平均と比較したところ、県平均を上回っている教科数は、5/10教科であった。また、県平均と同等の教科数は、3/10教科であった。</p> <p>各校においては、学力向上推進リーダーと連携を図りながら、本調査結果を踏まえた授業改善に取り組んでいる。教育委員会としては、授業研究会や各種研修をとおして支援していく。</p>
R 4	ほぼ同じ	0.0	0.0	
R 5	ほぼ同じ		0.0	
R 6	ほぼ同じ		0.0	
R 7	ほぼ同じ		0.0	

2-3 目標指数

成果指標		学習用端末を活用した授業		
単位	現状値 (R 1)		中間目標値 (R 4)	目標値 (R 7)
	—		1週間内 3日以上	毎日
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	1週間内 2日以上	66.6	40.0	<p>端末の運用5年目となり、各校ともほぼ毎日授業で活用しているほか、令和5年度から引き続き全校で週末の端末持ち帰りを開始し、家庭学習でも効果的に活用することができた。</p> <p>また、学習用端末を活用し自分の課題に合った学びの選択ができるようになり、復習や振り返りをより効率的に行うことができています。</p>
R 4	1週間内 3日以上	100.0	60.0	
R 5	1週間内 4日以上		80.0	
R 6	1週間内 4日以上		90.0	
R 7	1週間内 5日以上		95.0	

目標指数の点検・評価

施策2 確かな学力と自立する力の育成

2-4 目標指数

成果指標		地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると答えた児童生徒の割合		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
%	小学校 74.0 中学校 57.6		小学校 74.5 中学校 58.0	小学校 75.0 中学校 60.0
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	小学校62.8 中学校61.9	84.3 106.7	83.7 103.2	令和6年度の全国学力・学習状況調査における質問紙調査から、問いの文言が「何をすべきか考えることがある」から「何かをしてみたいと思う」に変更された。昨年度からは数値は下がったが、全国と比較すると、小学校はほぼ同等、中学校は+3.5という結果となった。 今後も、総合的な学習の時間や特別活動、児童会・生徒会活動をととして、児童生徒が郷土愛や公民的資源を育み、社会参画意識を高めているようにする。
R4	小学校56.1 中学校50.1	75.3 86.4	74.8 83.5	
R5	小学校85.9 中学校59.8		114.5 99.7	
R6	小学校92.3 中学校85.6		123.1 142.7	
R7	小学校80.0 中学校78.8		106.6 131.3	

目標指数の点検・評価

施策3 豊かな心と健やかな体の育成

重点目標	生涯にわたって学び続ける意欲と夢をもち、心優しく健やかな「いちかいっ子」を育てます。
------	--

重要施策

1 豊かな心と健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「さしばの里」の生き物調べを通した命を尊重する教育の推進 ・道徳教育や青少年赤十字活動(JRC)をとおした「こころ」の教育の推進 ・スクールカウンセラー等による教育相談の充実 ・体力向上のための運動習慣づくりへの取組をとおした、児童生徒の健康づくりと体力の向上 ・地域と連携した食農教育の充実と地産地消の推進
-----------------	---

3-1 目標指数

成果指標		スクールカウンセラーによる教育相談		
単位	現状値 (R 1)		中間目標値 (R 4)	目標値 (R 7)
日	30		60	90
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	31	51.7	34.4	町教育委員会として、スクールカウンセラーを1名配置している。赤羽小には月2日、市貝小には半日を月2回、小貝小には半日を月1回来校し、相談が受けられる環境を整えることで、児童生徒の発達に対する早期対応の面から有効であると考えている。 また、上記以外にも求めに応じた発達相談や発達検査にも対応していることから、前年度よりも日数が増加した。今後も、児童生徒はもちろんのこと、保護者にも寄り添った支援をしていく。
R 4	37	61.7	41.1	
R 5	45.5		50.6	
R 6	48.5		53.9	
R 7	52.5		58.3	

目標指数の点検・評価

施策3 豊かな心と健やかな体の育成

3-2 目標指数

成果指標		全国体力・運動能力、運動習慣等(小・中)調査(小5・中2:Tスコア)		
単位	現状値 (R 1)	中間目標値 (R 4)		目標値 (R 7)
(80点満点)	50.8	51.0		51.5
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	51.2	100.4	99.4	<p>令和7年度は、小5、中2の男女ともTスコアが平均を上回る結果となった。特に、上体起こし、反復横跳び、シャトルラン、50m走、ボール投げにおいて、小中男女とも平均を上回る結果となった。</p> <p>体力的要素を取り入れた活動や県のエキスパートティーチャー派遣事業等を生かし、児童生徒の体力向上を図っていく。</p>
R 4	51.5	101.0	100.0	
R 5	49.2		95.5	
R 6	51.0		99.0	
R 7	53.0		102.9	

3-3 目標指数

成果指標		学校給食の地場産物使用割合		
単位	現状値 (R 1)	中間目標値 (R 4)		目標値 (R 7)
%	48.2	50.0		52.0
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	72.8	145.6	140.0	<p>栄養教諭、各学校の学校栄養士を中心に、積極的に地場産物(県内産品)を活用したことにより、令和7年度についても目標を上回る結果となった。</p> <p>また、町内産の有機農産物を活用した給食の提供については、毎年回数を増やしており、令和7年度は年間6回から年間10回に増やし実施した。今後も引き続き地場産物の使用を推進していく。</p>
R 4	81.6	163.2	156.9	
R 5	76.0		146.1	
R 6	80.8		155.3	
R 7	82.4		158.5	

目標指数の点検・評価

施策4 教育環境の充実及び児童生徒への継続的な支援

重点目標	質の高い学校教育を推進するための環境の充実を図ります。
------	-----------------------------

重要施策

1 教育環境の充実 及び児童生徒への 継続的な支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導助手、特別支援教育補助員を配したきめ細かな教育支援の充実 ・老朽化した学校施設・設備の適正な維持管理と長寿命化計画による改修 ・ICT教育やプログラミング教育を充実するための体制づくりと環境の整備充実 ・防犯カメラの設置、青色パトロールカーの整備、子ども110番の家の充実等、防犯や通学路の安全確保 ・バリアフリー化の整備推進 ・各種手当や助成、進学支援等の充実
---------------------------------	---

4-1 目標指数

成果指標		学習指導助手、特別支援教育補助員の配置数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
人	8		11	13
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	12	109.1	92.3	各学校に学習指導支援員を3名配置し、学習に躓きのある児童生徒に対して、きめ細やかに指導を行っている。特別支援教育補助員も令和7年度は、特別支援学級を配置している2校に配置し、教育活動の実施に向けた支援を行っている。 また、令和6年度から、学習指導助手を学習支援員とし、T1として授業を実施している。各支援員が教科のねらいを踏まえた授業の実践に向けて、研修会等をとおして教育委員会として支援していく。
R4	12	109.1	92.3	
R5	14		107.7	
R6	15		115.4	
R7	14		107.7	

目標指数の点検・評価

施策4 教育環境の充実及び児童生徒への継続的な支援

4-2 目標指数

成果指標		トイレの洋式化		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
%	44.3		50.0	96.4
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	53.9	107.8	55.9	令和5年度のトイレ洋式化以後、その他設備においても最新化等を行い、利便性の向上に努めている。 令和7年度には、町内全小中学校に体育館空調を整備し、夏季の授業等に大きな効果が見込まれる。 今後の施設整備にあたっては、町内小中学校の今後の在り方を含め、慎重に行っていきたい。
R4	56.2	112.4	58.3	
R5	80.3		83.3	
R6	80.3		83.3	
R7	80.3		83.3	

4-3 目標指数

成果指標		家庭と学校とでオンライン授業が実施可能な割合		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
%	0.0		100.0	100.0
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	100.0	100.0	100.0	1人1台端末の持ち帰り活用に伴い、Wi-Fi環境が整っていない家庭に対しては、ポケットWi-Fiを貸与することでオンライン授業を可能にしている。 今後は、各家庭におけるWi-Fi環境整備を依頼していきたい。
R4	100.0	100.0	100.0	
R5	100.0		100.0	
R6	100.0		100.0	
R7	100.0		100.0	

目標指数の点検・評価

施策4 教育環境の充実及び児童生徒への継続的な支援

4-4 目標指数

成果指標		学校のバリアフリー化(スロープ等による段差解消)		
単位	現状値 (R 1)		中間目標値 (R 4)	目標値 (R 7)
校	1		1	4
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	1	100.0	25.0	令和7年度に町内の全小中学校の校舎及び体育館の校門から昇降口・入口までの段差解消のバリアフリー化が完了し、利便性が大きく向上した。また、今後、要配慮児童生徒等が在籍することとなった場合は、緊急的にエレベーター等の設置を行っていききたい。
R 4	1	100.0	25.0	
R 5	1		25.0	
R 6	1		25.0	
R 7	4		100.0	

4-5 目標指数

成果指標		子ども110番の家設置数		
単位	現状値 (R 1)		中間目標値 (R 4)	目標値 (R 7)
軒	218		220	230
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	220	100.0	95.7	自治会や自治公民館(40館)で組織する町自治公民館連絡協議会、町青少年健全育成推進委員会、町PTA連絡協議会などの関係団体に協力を得るとともに、町ホームページを活用し「子ども110番の家」の周知及び指定数(登録者)増に取り組んだ。今後も、地域や関係団体等の理解・協力を得ながら「子ども110番の家」指定数の増加に努める。
R 4	218	99.1	94.8	
R 5	218		94.8	
R 6	220		95.7	
R 7	215		93.5	

目標指数の点検・評価

施策4 教育環境の充実及び児童生徒への継続的な支援

4-6 目標指数

成果指標		青色パトロールカー配備数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
台	0		2	3
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	2	100.0	66.7	前年度同様に保護者主体の巡回のほか、スクールガードリーダーによるパトロールを引き続き実施し、安全性の確保に効果があった。令和7年度には、中部地区、北部地区を中心にスクールガードリーダーがパトロールを行っていたが、令和8年度は、新たに1名のスクールガードリーダーを任命し、南部地区を中心にさらなる防犯体制の強化が見込まれる。
R4	3	150.0	100.0	
R5	3		100.0	
R6	3		100.0	
R7	3		100.0	

目標指数の点検・評価

施策5 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上

重点目標	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちを守り育てる環境づくりを目指します。
------	--------------------------------------

重要施策

1 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を積極的に活用した子どもの学習意欲の向上 ・地域人材や地域企業を活用した学習機会の充実 ・部活動指導員を配した専門的な部活動支援 ・スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）を介して学校と家庭の連携を促進する ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の設置と学校運営の改善
----------------------	---

5-1 目標指数

成果指標		学校支援ボランティアの登録者数		
単位	現状値（Ｒ１）		中間目標値（Ｒ４）	目標値（Ｒ７）
人	66		70	75
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
Ｒ３	69	98.6	92.0	支援が必要な子どもへの国語、算数の指導や図書の読み聞かせ、農業体験、福祉体験など様々な分野において地域の方にボランティアとして指導いただくことで、学習意欲の向上やきめ細やかな指導につながっている。児童数生徒数が減少傾向にあり増加が難しいが、引き続き様々な場で声かけを行い、ボランティアの確保に努める。
Ｒ４	62	88.6	82.7	
Ｒ５	65		86.7	
Ｒ６	68		90.7	
Ｒ７	66		88.0	

目標指数の点検・評価

施策5 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上

5-2 目標指数

成果指標		部活動指導員の配置数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
人	0		2	3
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	0	0.0	0.0	<p>令和7年度は、卓球部、柔道部に1名ずつ配置し、教職員の負担軽減に効果があった。</p> <p>令和8年度は、バレーボール部にも1名の部活動指導員を配置しており、教職員のさらなる負担軽減につなげていきたい。</p> <p>また、部活動の地域展開が円滑に進むよう各種団体との調整を引き続き行っていきたい。</p>
R4	2	100.0	66.7	
R5	2		66.7	
R6	2		66.7	
R7	2		66.7	

5-3 目標指数

成果指標		コミュニティ・スクールの設置数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
校	0		1	4
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	0	0.0	0.0	<p>令和5年度には、町全体で1つの学校運営協議会を立ち上げたため、町内すべての小中学校がコミュニティ・スクールとなった。</p> <p>学校ごとに設置した分科会により、学校ごとに必要な支援を整理し、必要な人材を学校に提供することができたことから、一定の効果を上げたものと考えられる。</p> <p>今後はコミュニティ・スクールの制度を活用し、学校と保護者及び地域住民との間の信頼関係を深め、さらなる学校中心とした地域づくりに取り組んでいきたい。</p>
R4	0	0.0	0.0	
R5	4		100.0	
R6	4		100.0	
R7	4		100.0	

目標指数の点検・評価

施策6 生涯における学びの支援

重点目標	生涯にわたり学習を楽しむ環境が整っており、学習成果をとおして地域社会に貢献する人材の育成を目指します。
------	---

重要施策

1 生涯における学びの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「誰でも」「いつでも」「どこでも」学べる学習機会の提供、及び環境づくりの推進 ・社会教育施設の計画的な維持管理 ・町民のニーズや現代的課題に応じた城見ヶ丘大学教室講座を開設するとともに、学びを社会生活に実践できるように支援する ・郷土の歴史や文化を発信する拠点となる魅力的で利用しやすい図書館・歴史民俗資料館の運営の実現
---------------	--

6-1 目標指数

成果指標		城見ヶ丘大学教室講座参加(登録)者数		
単位	現状値 (R1)		中間目標値 (R4)	目標値 (R7)
人	1,714		1,720	1,750
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	929	54.0	53.1	令和7年度は、8つの新規講座を含む、35の教室・講座を開設した。需要に応じた新規講座を開設し、受講者の拡大に取り組んだ結果、前年と比べ受講者が281人増加する結果となった。 今後も、町民のニーズに応じた新規講座の開拓するとともに、広報誌やホームページを活用して、積極的なPRに取り組み、さらなる受講者数の拡大を図る。
R4	1,093	63.5	62.5	
R5	1,241		70.9	
R6	1,360		77.7	
R7	1,641		93.8	

目標指数の点検・評価

施策6 生涯における学びの支援

6-2 目標指数

成果指標		図書館の利用者数		
単位	現状値（R1）	中間目標値（R4）		目標値（R7）
人	47,689	49,000		52,000
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	27,716	56.6	53.3	利用者が前年と比較して減少している。例年、図書館まつりを町民祭と同時開催していたが、令和7年度は町民祭の会場が役場で開催されたことから、11月の入館者数が大幅に減少した。 集客イベントには、子どもを対象としたものが中心であったが、利用者アンケートの結果をふまえ、大人向けの講座を開催したところ、好評で、集客につなげることができた。
R4	29,148	59.5	56.1	
R5	29,721		57.2	
R6	33,450		64.3	
R7	30,956		59.5	

6-3 目標指数

成果指標		歴史民俗資料館の入館者数		
単位	現状値（R1）	中間目標値（R4）		目標値（R7）
人	8,272	8,500		9,000
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	981	11.5	10.9	年間をとおした入館者数は減少している。本年度は、歴史講演会などイベントと関連した展示を行うことで、集客に努めた。
R4	1,607	18.9	17.9	
R5	1,942		21.6	
R6	3,078		34.2	
R7	2,674		29.7	

目標指数の点検・評価

施策6 生涯における学びの支援

6-4 目標指数

成果指標		図書・CD等貸出数		
単位	現状値（R1）	中間目標値（R4）	目標値（R7）	
点	70,440	73,000	77,000	
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	60,600	83.0	78.7	図書館利用者、貸出数ともに減少している。 今後は、学校司書と協力し、団体貸し出しにも注力し、児童・生徒の読書習慣の定着に取り組み、貸し出し数の拡大に取り組みたい。
R4	63,665	87.2	82.7	
R5	64,670		84.0	
R6	63,377		82.3	
R7	61,303		79.6	

6-5 目標指数

成果指標		図書館郷土資料蔵書数		
単位	現状値（R1）	中間目標値（R4）	目標値（R7）	
冊	7,038	7,150	7,270	
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	7,243	101.3	99.6	市貝町立図書館では、その特色として郷土資料の充実を掲げている。そのため県内各機関からの寄贈資料を積極的に受け入れ整理し、郷土資料の開架を1階の歴史民俗資料館出入り口付近に設置するなど、利用者が利活用しやすい環境を整備している。高価な資料も多く、開架や書庫の収容量にも限りがあるなど課題もあるが、今後もこの特長を伸ばせるよう力を入れていく。
R4	7,213	100.9	99.2	
R5	7,292		100.3	
R6	7,351		101.1	
R7	7,468		102.7	

目標指数の点検・評価

施策7 文化・芸術の振興

重点目標	伝統文化や文化財の保存と継承を図るとともに、町民の文化・芸術活動の活性化を促進し、町民の郷土愛の醸成と文化水準向上につなげます。
------	--

重要施策

1 文化・芸術の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定文化財等の保存管理やその利活用の促進 ・ 郷土芸能及び伝統工芸の保全と発表の機会等を通じた後継者の育成 ・ 町民による文化・芸術活動の促進 ・ 郷土の歴史や文化を学ぶ機会の提供
------------	---

7-1 目標指数

成果指標		指定文化財数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
件	41		43	46
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	42	97.7	91.3	無形文化財保持者の死亡等不可抗力による減少もあるが、トータルで増加している。 令和7年度には、町指定文化財のうち天然記念物1点について、文化財保護審議会と調整を図り、所有者に補助金を交付することで、文化財の適切な維持管理に取り組んだ。
R4	42	97.7	91.3	
R5	42		91.3	
R6	43		93.5	
R7	43		93.5	

目標指数の点検・評価

施策 7 文化・芸術の振興

7-2 目標指数

成果指標		入野家住宅来館者数		
単位	現状値（R 1）		中間目標値（R 4）	目標値（R 7）
人	1, 205		1, 250	1, 300
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	549	43. 9	42. 2	内部の様子分かる解説動画が視聴できる二次元コードを設置し、開放日以外の来訪者にも対応できるよう取り組んだ。 今後も、来場者が安心安全で快適に過ごせるよう敷地内環境整備を進めると共に、映画のロケ地利用など新たな活用の方法を探っている。 令和 7 年度には、町有化された屋敷林について森林整備を行い、一体的な整備に取り組んだ。
R 4	462	37. 0	35. 5	
R 5	514		39. 5	
R 6	386		29. 7	
R 7	393		30. 2	

7-3 目標指数

成果指標		音楽芸能大会参加(団体)数		
単位	現状値（R 1）		中間目標値（R 4）	目標値（R 7）
団体	34		34	34
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	0	0. 0	0. 0	高齢化や練習不足を理由に文化協会音楽芸能部会の会員数も減少の一途をたどっており、新規会員の確保が課題となっている。
R 4	0	0. 0	0. 0	
R 5	27		79. 4	
R 6	31		91. 2	
R 7	28		82. 4	

目標指数の点検・評価

施策7 文化・芸術の振興

7-4 目標指数

成果指標		ギャラリー展出品数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
点	400		425	450
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	570	134.1	126.7	展示数は前年度に比べて増加しているが、出展者の高齢化が顕著にみられることから、新たな出品者の確保が課題となっている。
R4	541	127.3	120.2	
R5	513		114.0	
R6	472		104.9	
R7	494		109.8	

目標指数の点検・評価

施策8 スポーツ及びレクリエーション活動の推進

重点目標	生涯を通じてスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、交流を深め、健康な生活が維持できる環境づくりに努めます。
------	--

重要施策

1 スポーツ及びレクリエーション活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・レクリエーションの活性化 ・施設の整備・充実 ・広域での施設の相互利用の推進
-----------------------	--

8-1 目標指数

成果指標		生涯スポーツ参加者数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
人	2,035		2,400	3,000
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	765	31.9	25.5	令和7年度に開催した19の大会・行事のうち、12の大会・行事において前年度より参加者が増加した。 特に、市貝町健康マラソン大会、市貝町卓球大会においての計約150名の参加者増となっており、町内外に向けた周知の成果が現れたと感じる。 引き続き、チラシやホームページのイメージ向上に努める。
R4	653	27.2	21.8	
R5	1,863		62.1	
R6	2,203		73.4	
R7	2,452		81.7	

目標指数の点検・評価

施策8 スポーツ及びレクリエーション活動の推進

8-2 目標指数

成果指標		ニュースポーツ教室		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
件	17		20	22
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	15	75.0	68.2	開催期間を延ばしたものの、夏場に熱中症予防、対策のため教室を休止したことも影響し、開催数の増加には至っていない。 また、ニュースポーツの認知度も低いことから、人気の種目を揃える等、内容を再検討したい。
R4	12	60.0	54.5	
R5	12		54.5	
R6	12		54.5	
R7	12		54.5	

8-3 目標指数

成果指標		総合型スポーツクラブ会員数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
人	297		320	350
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	243	75.9	69.4	前年度比で横ばい状態となっており、依然として高齢者の会員割合が高く、児童生徒向けの教室が限られてる状況のため、内容の検討が求められる。 今後は、中学校部活動の地域展開を見据え、クラブ運営の体制強化を図る必要もある。
R4	245	76.6	70.0	
R5	259		74.0	
R6	268		76.6	
R7	271		77.4	

目標指数の点検・評価

施策8 スポーツ及びレクリエーション活動の推進

8-4 目標指数

成果指標		農業者トレーニングセンターの利用団体数		
単位	現状値（R1）	中間目標値（R4）		目標値（R7）
団体	0※	13		15
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	13	100.0	86.7	利用団体数は26団体となり、目標である15団体を大幅に上回る成果を収めた。前年度と同数を維持しており、地域に根差した利用状況は安定している。目標を大きく超過達成している現状を維持しつつ、今後は施設の長寿命化や利便性向上に努め、利用者満足度の高いスポーツ環境を継続的に提供することで、さらなる地域振興に寄与していく。
R4	15	115.4	100.0	
R5	30		200.0	
R6	26		173.3	
R7	26		173.3	

※農業者トレーニングセンターの令和元年利用団体数については、耐震補強工事による利用中止による。

8-5 目標指数

成果指標		各種スポーツ団体、サークル数		
単位	現状値（R1）	中間目標値（R4）		目標値（R7）
団体	50	52		55
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	50	96.2	90.9	友人や職域での団体、サークルが増えてきている一方で、自治会等地域派生団体が減少している。 活動をするための目的となるような大会、行事を企画していきたい。
R4	54	103.8	98.2	
R5	55		100.0	
R6	60		109.1	
R7	64		116.4	

目標指数の点検・評価

施策8 スポーツ及びレクリエーション活動の推進

8-6 目標指数

成果指標		学校施設（夜間開放）の利用団体数		
単位	現状値（R 1）		中間目標値（R 4）	目標値（R 7）
団体	32		25	30
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	20	80.0	66.7	前年度と比較して微減となっているが、どの学校施設も大半を利用している状況であり、新たな団体の利用時間を確保することが困難な状況である。
R 4	20	80.0	66.7	
R 5	22		73.3	
R 6	22		73.3	
R 7	20		66.7	

目標指数の点検・評価

施策 9 人権教育・青少年教育・男女共同参画の推進

重点目標	町民一人ひとりが互いに尊重し合う人権尊重の社会を目指すとともに、男女がその能力と個性を十分に発揮できる社会のあらゆる分野に、ともに参画できるまちづくりを進めます。
------	---

重要施策

1 人権教育・青少年教育・男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権尊重社会の理解の促進 ・ 男女共同参画意識の啓発 ・ 社会活動への参加の促進と支援体制の充実 ・ 高齢者や障がい者などとの交流の推進 ・ 差別や人権侵害に関する相談体制の充実
------------------------	---

9-1 目標指数

成果指標		町設置各種委員会の女性委員の割合		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
%	26.4		28.0	30.0
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	24	84.3	78.7	各分野の委員会・審議会が、政策や方針決定の場への女性の参画を促進し、積極的に女性の意見をまちづくりに反映させていくよう努めている。令和4年度に策定した「男女共同参画い・ち・か・いプラン」第四期計画の実現に向け、対策を講じていく。
R4	25	88.6	82.7	
R5	25		82.7	
R6	27		90.0	
R7	29		96.7	

目標指数の点検・評価

施策 9 人権教育・青少年教育・男女共同参画の推進

9-2 目標指数

成果指標		特設人権相談所の開設回数		
単位	現状値（R 1）		中間目標値（R 4）	目標値（R 7）
回	4		5	6
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	2	40.0	33.3	関係機関と協力し、市貝町役場やきら里館、ふれあい館で、年6回の特設人権相談所を開設し、人権に関する相談体制の充実に努めた。前年度より開設回数を2回多く開催し、目標の達成に努めた。
R 4	4	80.0	66.7	
R 5	4		66.7	
R 6	4		66.7	
R 7	6		100.0	

9-3 目標指数

成果指標		ジュニアリーダースクラブ会員の各種行事への参加率		
単位	現状値（R 1）		中間目標値（R 4）	目標値（R 7）
%	41.3		45.0	50.0
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	48	107.1	96.4	地域課題を整理し、課題解決に向けて自分がやってみたいことを話し合った。さらに、ジュニアリーダースクラブとして取り組む事業を絞り込み、実践に向けて話し合いを行った。 その結果、令和7年度には、高校生バンドを中心としたイベント「市貝町JLC音楽フェスティバル」を開催し、地域の活性化と若者に魅力あるイベントの提供することができた。
R 4	33	74.0	66.6	
R 5	34		67.6	
R 6	41		82.0	
R 7	44		88.0	

点検・評価にあたっての学識経験者からの意見提言（要旨）

点検・評価は、令和7年度の各施策に掲げる事務事業の取り組みに対して実施した。

基本目標4 誰でもどこでも育み学びあえる魅力に満ちたまち

意見提言 ○ 目標指数の多くの項目が人口減少に伴い、達成が難しくなっていると思う。目標値の設定は必ずしも現状値を超える必要はないように思う。

回答 → 次期教育大綱策定時に参考にさせていただく。

意見提言 ○ 私自身英語の勉強が嫌いだったが、今になり、英語で外国の方とコミュニケーションがとれたらなんて素敵だろうと思う。児童生徒が楽しく英語に触れる機会が増える嬉しい。

意見提言 ○ ファミリーサポートを必要としている人が多いということは、子育てに対して困っている人が多いということか。コミュニケーションに利用するなど前向きな方が多いならよいと思う。

回答 → 子育てに困っている人も若干はいるとは思いますが、みどりの森のような新興住宅地など地域間のつながりが薄い方へのサポートの役割もあり、そういった利用もある。

意見提言 ○ ファミサポを利用した子どもが、その後どうなっているのか情報共有した方がよい。利用者が少ない分、その後も見守っていければよいと思う。

意見提言 ○ 子育て支援の利用者について、生涯学習課の講座と同じようなことをやると客の取り合いのようになる。うまく連携してやっていけるとよいと思う。

意見提言 ○ スポーツ選手など世界で活躍する日本人の影響で、英語に興味をもつ子どもが増えているのかも。少子化社会の中でグローバルとローカルの割合を意識し、市貝町が誇れるものを発信できるようになるといい。

回答 → 英語に関しては、「知っている」「できる」というレベルから「どのように活用できるか」というレベルにシフトしている。様々な場面を想定し、子どもたちへ投げかけ、多面的な教育になるよう心がける。引き続き将来を豊かにできるような英語教育を行っていきたい。

意見提言 ○ 学習端末持ち帰りに関するリスクはあるのか。

回答 → 学習のための活用が前提ではあるが、使用目的のずれが見受けられる。破損については持ち帰り時よりも授業中に多いので、各学校から大事に使用するよう指導してもらっている。

意見提言 ○ 「地域社会をよくするため～」と考える児童生徒の割合について、小学生が多い理由は何があるのか。

回答 → 小学校の方が授業などで地域との交流が多くなるためだと考えられる。しかし、中学校においても地域と触れ合える授業、活動が充実してきている。

意見提言 ○ 端末の破損防止のためにカバーを取り付けるなどの工夫をしてみてもは。他市町だと使っているところもある。学校の家庭科の授業で作る機会があれば面白そう。セキュリティ面では学習に関係ないアプリを容易に開けてしまうような設定と聞いているので不安がある。

意見提言 ○ 国語力の低下が目につく。自分が立てた目標を言えない、考えられない子どもが多いので頑張ってもらいたい。

点検・評価にあたっての学識経験者からの意見提言（要旨）

- 意見提言 ○ 市貝町に多い外国人は中国系、フィリピン系が多いのではないかと。今後は、ますます増える可能性は高いので、現状に合ったコミュニケーションの仕方を模索しなくてはならない。
- 意見提言 ○ スクールカウンセラーは足りているか。高校の話にはなるが、学力やコミュニケーションなどそれぞれの分野に特化したカウンセラーを配置している。
- 回答 → 町採用のカウンセラーに加え、県採用のカウンセラーも配置し、なるべく学校の要望に応じられるようにしている。専門知識を有する方は今後検討していきたい。
- 意見提言 ○ 地場産物活用については県でも取り組んでいる。物価高のご時世で、地場産物は安全性やコスト面で非常に恵まれていると思うので是非続けてほしい。
- 回答 → 学校給食については地場産物の活用割合が増えている。市貝町の給食は量が多く充実しているが、なかなかそのことをPRできていないので、できることを考えていきたい。
- 意見提言 ○ 給食費の抜本的な負担軽減が令和8年度から始まっているが、市貝町の現状はどうなっているか。
- 回答 → 令和8年4月より、補助金なども活用しながら小中学校すべてを無償化している。多くの市町で財政支出し、無償化を実現している。
- 意見提言 ○ 和式を使えない子どもたちもいるので、トイレ洋式化の達成率について教えてほしい。
- 回答 → 洋式化できていない部分は、プールや中学校の特別教室棟が主である。それらの洋式化については施設自体の老朽化もあるため、今後の施設のあり方を含めて検討していきたい。
- 意見提言 ○ 子ども110番の家については少子化、スクールバス利用の増加に伴いあり方を考える時期かと思う。実際に駆け込みの報告は過去にあったか。
- 回答 → スクールバスのない休日に対する効力、看板掲示そのものによる防犯の目的もあるので、引き続きお願いしていきたい。実際に子どもが駆け込んだという報告が中央公民館にあがってきたことはないが、困っている子どもを助けたなどの話は聞いたことがある。
- 意見提言 ○ 子ども110番の家を利用できてもなかなか1人で入るのはハードルが高いと思う。「できれば複数名で利用して。」と指導をしたこともあった。
- 意見提言 ○ 青色パトロールカーの事故が起きた際の対応はどうなるか。
- 回答 → 各小学校区で1名配置しているスクールガードリーダーについては町で保険に加入している。保護者を中心としたスクールガードが乗車することもあるが、特に加入はしていないので、青パトでの事故の際は車両保険での対応となる。スクールバスの増加により必要性に疑問を持つ声もあるが、青色回転灯を回しての巡回は地域防犯へ大きな意味があると考えている。

点検・評価にあたっての学識経験者からの意見提言（要旨）

- 意見提言 ○ 部活に加入していない子どもの割合はどのくらいか。
- 回答 → 令和5年度の加入率が5割は切るくらいであった。その後若干増加したため、現在は半数行くか行かないくらいが未加入と思われる。部活の他にクラブチーム加入者もいるため、部活動を含め何らかに所属している生徒割合は7～8割程度はあると予想される。
- 意見提言 ○ コミュニティスクールについて、町全体で一つの協議会として存在し、その下に各校の分科会がある状況であるが、全体会の必要性など疑問に思うことが多い。
- 回答 → 各校によって差があり、全体会で集まって話してもぼんやりとした印象になることが多い。各校で主体的に活動する方法も含めて、今後の学校運営協議会の在り方について、委員と一緒に検討していきたい。
- 意見提言 ○ 歴史民俗資料館について、見せ方を工夫できないか。県ではタッチパネルを利用し視覚的に見やすくするなどの工夫をしている。職員は県内外の美術館をたくさん見学してほしい。
- 意見提言 ○ 歴史民俗資料館は歴史関係のもののみ展示可能なのか。もっと多種多様な展示、身近に感じられる展示があると楽しく、子どもも親しみやすいと思う。照明が暗いと感じることが多い。
- 回答 → 自然科学系やその他のものも可能である。県とのコラボでアンモナイトのレプリカの展示も行っている。照明については作品を傷めないよう暗めに調整している。
- 意見提言 ○ 教室受講生は高齢者が多めだが若い方もいる。ギターやウクレレの教室、サークルなどがあるとうれしい。
- 回答 → ウクレレ教室はないが、ギター教室については開講している。
- 意見提言 ○ 巨木を町の文化財に指定しているが、いずれ枯れた時や災害があった時の対応などを考えると、指定は慎重に行った方がいいのではないかと。
- 意見提言 ○ 音楽芸能大会は範囲を広域にし、数年に一度の開催も視野にいてはどうか。
- 回答 → 芳賀郡では、民舞吟大会がある。また、音楽芸能大会には28団体の出演があり、半日以上を要する。地域の方の活動発表の場を確保するために町独自の大会も継続して行いたい。
- 意見提言 ○ 夜間施設開放とは、体育館のことか。
- 回答 → 多くは体育館の利用だが、グラウンドの利用も可能。サッカーで使用することもある。
- 意見提言 ○ ニュースポーツ教室は出前講座でできるとうれしい。キンボールは、運動の得手、不得手問わず誰でも楽しめる。
- 意見提言 ○ 部活動の地域展開はどのようになっているか。いきいきクラブが受け皿になっているのか。
- 回答 → 令和7年9月より卓球、柔道が地域クラブ活動となっており、基本、土日が地域クラブ活動扱いになる。地域スポーツクラブがいきいきクラブにあたるのでそこが最終的な受け皿となればと考えている。

点検・評価にあたっての学識経験者からの意見提言（要旨）

- 意見提言 ○ JLCの音楽フェスについて、存在を知らない高校生もいるのでHPだけでなくもっとよいPRがあると嬉しい。
- 意見提言 ○ 女性委員の割合については難しい部分が多い。男性が家庭のことをもう少し行えば、割合は増えるかもしれない。個人的には、市貝中卒業生の女性が町から出て行ってしまう割合が高いと感じている。女性が残りたいと思えるようなまちづくりができると、子どもも増えてくるのではないかと思う。
- 意見提言 ○ 学童では特に準備等していないが、クマと遭遇したとき学校での対応はどうか。
- 回答 → 小貝小では危機管理マニュアル中に盛り込んだ。クマ出た場合の訓練を実施するなど日頃から備えている。
- 意見提言 ○ 高齢者がスマホやSNSを使いこなす講座があるとよい。
- 回答 → スマホの使い方講座を実施しているが、使用方法がメインのため、今後は犯罪に巻き込まれないよう防犯を目的とした講習の開催も検討したい。



令和 8 年度
教育委員会点検・評価報告書
(令和 7 年度対象)

令和 8 年 7 月 策定

市貝町教育委員会

こども未来課 TEL 0285-68-1119
生涯学習課 TEL 0285-68-0020